

河南町 舗装修繕計画

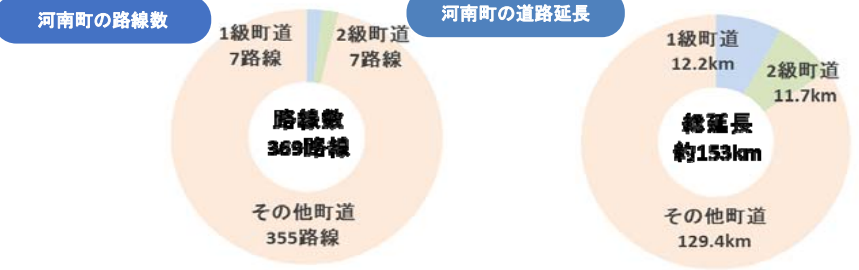
舗装の損傷を調査し、安全で円滑な通行と効果的かつ効率的な修繕を図るため舗装修繕計画を策定しました。

背景・目的

道路は“人”・“物”を安全かつ円滑に移動させるものとして、平常時（日常生活）のみならず緊急時（災害発生時）においても重要な役割を担っており、道路舗装の維持管理は住民の生活に大きな影響を及ぼします。

河南町が管理する町道は、369路線で総延長約153kmあり、その多くの道路が整備後数十年を経過していることから、今後、ますます道路舗装の老朽化が進行するとともに、財政負担の増加が懸念されます。

このような状況の中、河南町では、測定車による路面の状況調査（路面性状調査）を行い舗装の損傷度を把握し、その結果を基に道路の維持管理・修繕を計画に行うことを目的として、安全で円滑な通行を確保するとともに、限られた財源の中で効果的かつ効率的な修繕を図るため、費用の平準化を踏まえた『河南町舗装修繕計画』を平成25年度に策定しました。今回は経年変化を踏まえ、前計画の修正を行うものである。

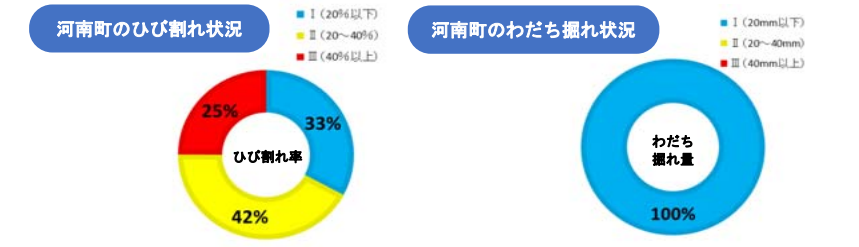


現状における舗装劣化の状況

舗装の現状把握は、「舗装点検要領（平成28年10月国土交通省道路局）」に準拠して行いました。今回の調査は、河南町が管理する町道のうち、主要な道路や市街地における生活道路の約40kmを対象として実施しました。

この調査により、損傷の著しい区間（ひび割れ率40%以上またはわだち掘れ量40mm以上の区間）が約25%存在していることがわかりました。

また、河南町の舗装劣化は、ひび割れを主体として進行していることがわかりました。



舗装修繕計画の方針

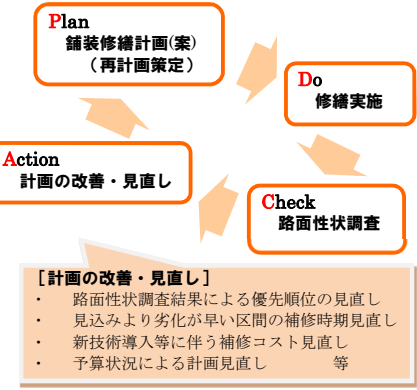
- 継続的なマネジメントサイクルの定着

河南町管理の延長約153kmのうち、主要な道路について計画・修繕・調査・改善のPDCAサイクルを定期的にも実施し、マネジメントサイクルを定着させる。
- 効果的かつ効率的な舗装修繕の実現

客観性の高い指標により、今後10年間を目途に計画の策定を行っています。修繕の必要性とともに、路線特性や機能性・安全性等を考慮して修繕優先順位を定めています。
- 継続的なモニタリングの実施

定期点検（路面性状調査）を行うとともに、道路パトロールの実施により、損傷個所の早期発見に努めます。
- 計画の改善・見直し

今回実施した路線を中心に継続的に調査を実施して河南町の舗装劣化進行度を把握して計画の見直しを実施します。



舗装の状態、対策内容、実施時期

- 本計画の期間は、R6～R15の10年とする。
- 補修予定延長と施工単価、施工幅員をもとに概算金額を計算しました。町全体の舗装修繕費用は下記のグラフのとおりです。
- 舗装修繕に必要な費用は、今後10年間で約4億円となり、優先順位を定め計画的に実施することにより、費用の平準化が図れます。

